

匠瑛市地域公共交通利便増進実施計画（概要）

匠瑛市では、市内公共交通として循環バスを運行しているが、1運行あたり所要時間が1～1.5時間と長大で利便性と効率性に課題があり、利用者数も年々減少傾向であった。課題解決のため、現行の循環バスの運行ルート及び運行本数を見直して利用が多い地域に運行を集中させるとともに、バスを補完するものとしてオンデマンド型交通を導入するなど、再編を進めている。



【事業内容】

- 市内循環バスの運行ルート上の民間路線バスとの重複区間の大部分を解消するとともに、6ルートから5ルートに変更。利用が全くないバス停を廃止し、利用が少ない運行ルートはバスを小型化して運行。
- 市内循環バスのルート再編に伴い、新たに交通不便地域が生じることや、停留所まで歩くことの難しい高齢者等への対応として、オンデマンド型交通を新たに導入。

上記に加え、従来から実施している地域交通利用料助成事業（75歳以上の自動車等運転免許を持たない方への移動支援として、タクシー利用券を交付）も引き続き実施。

【事業の効果】

- 市内循環バスの再編により、1運行当たりの所要時間が短縮され運行が効率化。また、市民の目的地が集中する市内中心部の駅や商業施設等へのアクセスが改善され利便性が向上。
 - オンデマンド交通の導入により、市内交通不便地域が解消され、市内中心部から離れた地域の市民の移動負担が軽減。
- また、既存の地域交通利用料助成事業との併用により、対象となる高齢者は、デマンドの予約状況等により交通手段の選択が可能となり、高齢者の外出機会の増大に寄与。

【関連事業】

- 以下の取組を市が推進し、利便増進事業を支援。
- 交通結節点の機能強化（主要駅等での乗り場における行き先表示の改善、乗り継ぎ案内、待合空間の整備の充実等）
 - サイクル&バスライドの導入検討（循環バスの利用促進）
 - 運行情報提供の充実（公共交通マップを作成し市民へ配布）
 - 商業施設等との連携サービスの導入（公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符等の導入、公共交通を利用したモデルプランの作成を検討）

【市内公共交通ネットワーク】

これまで

凡例

- JR総武本線
- 路線バス・多古本線
- 市内循環バス
- 豊栄・吉田循環
- 飯高・豊和循環
- 穂巻循環
- 平和・共興循環
- 野田・栄循環
- 須賀循環

○市内循環バス
・JR総武本線より北側を3路線、南側を3路線運行。市民アンケートでは利用者の満足度は低くないものの、運行本数や時間帯について改善要望があり、また、運行ルートの見直しの方向性として、循環バスは利用が多い地域に運行を集中させ、その他の地域は新たな交通手段の導入を望む声が最も多く寄せられた。

再編後

凡例

- JR総武本線
- 市内循環バス
- 市内循環バス（現行ルート）
- デマンド型交通（北部エリア）
- デマンド型交通（南部エリア）
- 交通結節点（市内）
- 交通結節点（市外）

○市内循環バス+オンデマンド型交通
・市民の声等も踏まえ、JR総武本線より北側を2路線、南側を3路線に循環バスを再編。
・オンデマンド交通を新たに導入し、区域を北側と南側に分け、予約に応じて利用者の自宅等から運行エリア内の駅等の乗降ポイントを結ぶ。
・毎年利用状況や収支状況を法定協議会に報告、運行の維持・改善を継続的に検討。

実施区域：匠瑛市全域 計画期間：R5. 4. 1～R10. 3. 31